

WEEKLY REPORT

Rotary



Sabae Rotary Club

RI第2650地区 2016-2017年度 鯖江ロータリークラブ



国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕する
ロータリー

RI第2650地区のスローガン

夢を語り、現在を刷新
Review From the future and Renew



鯖江ロータリークラブ会長方針
老壮青 今、日々を大切に
「感謝で繋ぐ」その為に...
会長 田村 康夫

第2799回
4/21(金)

4月第3例会

点鐘:12:30

テーマ「歴史経路で学ぶ地域の経済と企業経営」
福井県立大学地域経済研究所 教授
卓話 **南保 勝 様**

第2800回
4/28(金)

4月第4例会

点鐘:12:30

テーマ「リオオリンピックの裏側」
福井新聞社編集局内運動部副部長
卓話 **佐々木 紀光 様**

第2801回
5/12(金)

5月第1例会

点鐘:12:30

テーマ「自動車の安全装備について」
㈱大橋モータース代表取締役
卓話 **大橋 良史 会員**

4/21(金)

第2799回

例会報告

注意:5月5日(金)は休会です

4つのテスト

出席率74.0%

鯖江商工会議所3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ - タ リ - ソ ン グ
好意と友情の握手タイム
会 長 の 時 間 等
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「四つのテスト」
桑原 重之
副ソングリーダー

好意と友情の握手タイム



RI研修卒業証書授与



大島 恒彦
会長エレクト

ゲスト及びビジターの紹介と会長の時間



田村 康夫 会長

本日の卓話者は福井県立大学地域経済研究所教授南保勝様。「歴史経路で学ぶ地域の経済と企業経営」をテーマにお話しいただく。ビジターは、鯖江北 RC 会長エレクト増永英彦様。よろしく願います。某会社の社長室の陶器に、「人は一生、名は未代」と書いてあり、名を遺すことの難しさを考えると、大事なことだなと感じた。

親戚で仏壇のお魂抜きをする時に立会い、お釈迦様が飾ってあるのを外して裏を見ると、正徳2年と書いてあり、調べたら1702年(315年前)となっていて、長年続いてきた家を繋いでいくことの大切さを痛感した。皆様のご商売、ご一族等、子々孫々と栄えていかれることを、改めてお祈りする。

幹事報告



帰山 明朗 幹事

ご案内の通り、本日の例会終了後は今年度三回目、最後の「クラブ協議会」を行う。出席依頼者は、役員、各委員会委員長、そして入会三年未満の会員の皆さま。お忙しい中申し訳ないが、例会終了後、この場にお残り頂き、クラブ協議会にご出席よろしく願います。

皆様のお手元に、虹のはしミュージカル15周年記念!!虹のはし合唱団の「アラジン」ミュージカル出演者募集チラシを置かせていただいた。これは、今年度社会奉仕委員会活動の「サバーンのおやくそく体操」で出演いただくなどのお世話になった。音楽指導の酒井郁恵さんは、当RC会員酒井雅憲さんの奥様なので、どうかこのチラシをご覧いただいて、ミュージカル出演のご協力をいただきたい。

ここにBOX報告

RI研修卒業報告



大島 恒彦
会長エレクト

研修4回とも出席し、本当に知らないことを一杯教えていただいた。来年度、少しでもお役に立てるよう、これを基礎として頑張っていく所存なので、今後ともよろしく願います。

- 1 鯖江北 RC 増永英彦 様
- 23 帰山 明朗 会員
- 24 大橋 良史 会員
- 6 窪田 健一 会員
- 2 齋藤多久馬 会員
- 2 小部 隆充 会員
- 5 小淵 洋治 会員

- 1.例会お邪魔します
- 2.南保先生の卓話を楽しみに
- 3.例会後クラブ協議会よろしく
- 4.よいことがありますように
- 5.しばらく休みが続きました
- 6.早退します

小計 ¥ 15,000
累計 ¥ 978,000

卓話 福井県立大学 地域経済研究所 教授
南保勝 様

テーマ「**歴史経路で学ぶ地域の経済と企業経営**」



卓話者紹介

孝久 治宏 プログラム委員長

福井県立大学地域経済研究所教授南保勝様。テーマは「歴史経路で学ぶ地域の経済と企業経営」。南保様は、1年前にも卓話願ひ、私の毎年定期的に拝聴したいという思いで、本日お願いした。(株)福井銀行から、県立大に入り、2009年から現職。地場産業論・地域経済論・地域研究を専門とされている。これらに関する著書・論文も多数発刊されている。

**福井県立大学地域経済研究所 教授
南保勝 様**



福井県は、明治期のはじめ分離、統合、時には消滅という危機的状況乗り越えながらも、明治期のはじめに現在の福井県とほぼ同じ地形の県域をつくりあげていった。では、こうした歴史的背景の中で、福井県が誕生した明治初期(近世を含む)における本県の産業はいったいどのような特徴を持っていたのか。

その第一の特徴は、西回り航路の発達により誕生した「北前船」に求めることができる。「北前船」は、越前、加賀の船頭なくして成立しなかった。「北前船」とは、蝦夷地と大阪を西回り航路(日本海航路)で結び、船主自らが立ち寄る港々で商品を買付けながら、それら商品を別の港で販売し利益を上げる買積み廻船のこと、一言でいえば「海の総合商社」。しかし、この「北前船」の船主が当地に存在していたという事実は、15～16世紀、あのコロンブスやマゼランが活躍した大航海時代を彷彿させるものであり、さらに、小浜、敦賀、三国など大陸文化伝来の玄関口とし

て栄えた地が存在していた事実と合わせて考えれば、福井県そのものが古より広域ネットワークの拠点として、経済、文化、人的交流等の面で極めて重要なポジションを担っていた事実を認めなければならない。

第二の特徴は、表1-1で明らかのように、幕末から明治にかけて、福井地域は商品流通経済の発達した地域であり、工業中心、中でも和釘の生産では日本一を誇り金属加工技術の発展した地域であったこと。

そして、第三の特徴は、伝統的工芸品産業の集積地であり、さらに繊維産業に代表される工業を中心とした地場産業も豊富な地域であったことなどが挙げられよう。

こうした福井の産業史を踏まえて、今後の地域企業の姿は如何にあるべきか。これについては、経済学、経営学の基本理論をもとに考えてみたい。

例えば経済学の発展要素は、「全要素生産性(TFP)」の進化、言い替えればイノベーションの進化と労働力人口の増加、それに投資の誘発が重要なカギとなる。中でも、ここで言うイノベーションとは、単なる工業技術の進化だけでなく、経営革新をも含まれる。それを基本に考えれば、福井の地域企業の今後の姿は、福井の産業史が如何に素晴らしいものであったかを再確認しながら、それを誇りとし経営革新を常に図らなければならない。その基本は、やはりヨーゼフ・シュンペーターの「創造的破壊」、「新結合(イノベーション論)」から学ぶことが必要であろう。すなわちそれは、1.「新商品・新技術の創出と実現」、2.「新しい生産方法の導入」、3.「産業の新しい組織の創出」、4.「新しい販売市場の創出」、5.「新しい買付け先の開拓」を常に意識した経営を実践することである。しかも、したたかに…。

クラブ協議会

S.A.A 大橋 良史 委員長

・幹事のサポートに努め、より明るい例会を目指し活動。

会計 瀧ヶ花 秀晃 委員長

・健全なクラブ財政運営ができた。

クラブ奉仕委員会 幸道 森市 委員長

・各事業の消化は順調だった。

職業奉仕委員会 幸道 森市 委員長

・奉仕の理想の理解を深めた。

社会奉仕委員会 清水 康弘 委員長

・やしき子ども踊り、模擬面接会、交通安全体操等、皆様のご協力をいただき、順調に出来た。

国際奉仕委員会 野中委員長(代読:牧野副委員長)

・外国人との交流夜間例会ご出席いただきお礼申し上げる。犯罪の国際化等に危惧している。

青少年奉仕委員会 岡本委員長(代読:大橋副委員長)

・国際奉仕と合同夜間例会のご協力、ありがとう。前回のアクトの会合で、1名の入会者を得、ありがたく思う。

会員組織・会員増強委員会 佐野 直美 委員長

・会長のおかげで3名増員出来たが、自分が勧誘した方々は誰も入っていただけなく、残念だった。

会員選考委員会 下村委員長(代読:帰山幹事)

・新入会員予定者を的確に判断し、職業分類調査。



ロータリー情報委員会 斎藤多久馬 委員長

・新入会員のインフォメーションを実施した。

R L I 大島 恒彦 委員長

・RLI研修に4回とも出席し、無事卒業できた。大変難しかったので、次年度からの為に内容を伝えたい。

ロータリー基金 小部 隆充 委員長

・会員35名中20名は完納。未納の方に催促する。

クラブ広報 酒井雅憲委員長(代読:瀧谷副委員長)

・会報やHPに、写真を多く採用しわかりやすくした。

クラブ管理運営・親睦 深見委員長(代読:帰山幹事)

・当初より目標としていた陶芸同好会を開催することができた。ご協力に感謝。

ニコニコ委員会 瀧谷えみ子 委員長

・例会34回平均¥25,342で合計¥963,000のニコニコ集計。沢山のご協力感謝申し上げます。

出席委員会 野呂 和夫 委員長

・出席率平均79.64%。6/30の最終例会で皆勤者を表彰したい。記念品について良い案をいただきたい。

プログラム委員会 孝久 治宏 委員長

・卓話35回中27回終了。紹介等お力添えありがとう。

ソング委員会 野中委員長(代読:桑原副委員長)

・お尻の穴を締め、キリンの首のおかげで、大きな声になったと思う。新曲は次年度も引き継ぎたい。